



# The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

## 浜松志耀ロータリークラブ 第38回例会

開催日時: 2024年8月22(木) 午前 7:30 ~ 8:30

開催場所: オークラクトシティホテル浜松 30階 パールの間

### ■ 会長挨拶 小川会長

ロータリアンの皆さん、おはようございます。

本日、このような素晴らしい機会をいただきましたこと、まずは沢根スプリング株式会社の取締役会長である沢根孝佳様に心から感謝申し上げます。沢根取締役会長は、長年にわたり「人を大切にできる経営」を実践され、その成果を今日私たちと共有していただけることを大変嬉しく思っております。また、本日は特別に、中学生の小谷涼乃さんが例会を見学に来てくださっています。小谷さん、ようこそお越しくださいました。ロータリークラブの活動や、ここでのお話が、小谷さんにとって何か新しい発見や学びになることを願っております。

本日は、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞についてお話したいと思います。この大賞は、非常に厳しい基準を満たさなければならず、受賞することは並大抵のことではありません。沢根スプリング株式会社様は、平成26年度第4回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 中小企業庁長官賞を受賞され、創業以来47年連続で黒字経営を達成しながら、社員の幸せを最優先する経営を実践してこられました。また、小澤直前会長の会社である松川電気株式会社様も、同じくこの難関を突破され、平成30年度第8回審査委員会特別賞を受賞、さらに令和6年度第14回中小企業基盤整備機構理事長賞を受賞されています。

これらの企業が示されたように、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を受賞するためには、過去5年間にわたり次のすべての応募資格を満たす必要があります。①希望退職者の募集や人員整理をしていない、②重大な労働災害を発生させていない、③一方的なコストダウン等理不尽な取引を強要していない、④障がい者の雇用率は法定雇用率以上であること、⑤営業黒字で納税責任を果たしている、⑥下請代金支払遅延防止法等の法令違反がない。これらの条件を満たすことは、非常に困難であり、実現には多大な努力と徹底した管理が必要です。特に、リストラを行わず、障がい者雇用や法令遵守を確実にしながら黒字経営を維持することは、企業にとって大きな試練となります。しかし、沢根スプリング様と松川電気様は、この厳しい条件を見事にクリアされ、企業としての信頼性や社会的責任を果たしてこられました。

私の会社も、これらの基準に従い、社員を大切に、地域社会に貢献しながら持続可能な経営を目指して取り組んできました。特に大きな転機となったのが、8年前のことです。当時、業績が落ち込み、今後の経営方針に悩んでいた時期に、小澤直前会長から「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞という本を紹介していただきました。その本の内容には、社員の給料を高くし、待遇を良くすること、そして誕生日には贈り物をするなどが推奨されていました。当初は、業績が厳しい中でこれらの施策を実行することに不安もありましたが、思い切って試みることにしました。その結果、社員のモチベーションが向上し、会社全体の生産性が改善され、業績も回復し、現在では安定した成長を続けています。

さらに、同じ時期に、小澤直前会長からロータリークラブへの入会も勧められました。当時は、会費などの費用面での負担が心配でしたが、同時に新しい出会いや学びの機会に期待していました。入会后、ロータリーを通じて得た人脈や経験が、経営の視野を広げる大きな助けとなったことは言うまでもありません。この成功体験を通じて、社員を大切にすることが企業の成長に欠かせない要素であると確信しています。取引業者様との信頼関係も強化されてきました。

「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を目指す過程では、社員一人一人がやりがいを持ち、安心して働ける環境を整えることが、企業の発展に大きく寄与すると確信しています。また、顧客や取引業者、地域社会に対しても誠実に向き合うことが求められています。これからも、この難関を突破するために努力を続けてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日も宜しくお願い致します。

### ■ 卓話 沢根孝佳(沢根スプリング株式会社 取締役会長)

「たった一回こっきりの人生、働き方改革ではなく、楽しみ方改革・働きがい改革」

- ・私は2代目で、現在、3代目社長をフォローしている。
- ・従業員54人、59期目で58期黒字、自己資本比率は83%、売上は9億円。
- ・経営は「止める」事も大切で、「健康経営」は表彰される事ではないので止めた。一部のISO認証も止めて自分たちでその基準を守るようにしている。

- ・金属製のバネを作っている会社で、小ロットを沢山やっている。取引先は通販を除いて約500社で年6万件の取引をしている。小口が6割、自動車やオートバイのバネが3割、医療機器が1割。

- ・S60年から通販も始めているが、バネの通販を機に我が社の事業構造を変えた。今後も、時代の流れと共に事業構造を変えていく。

- ・ビジネスモデルは「世界最速工場」の「スピードにこだわる経営」で、①価格競争をしない(高付加価値経営)、②腹八分目経営、③考え・作り・売る、④超分散と選択などを意識している。

- ・製造業だが、モノを売るのではなく、時間という価値を売っている。

- ・会社の「あり方」がビジネスモデルを作り、真の生産性改革につながる。①楽しく働ける会社をしたい。働きがいのある会社をしたい。②「考え・作り・売る」を深掘りし、世界最速工場というコンセプトを社員に周知する努力を続けている。③社員が自ら考え、実行する、失敗を怖がらずに挑戦し、楽しいと思える事が、真の生産性改革に繋がると考えている。

- ・会社経営の目的は、①会社を永続させる、②人生を大切に、③潰しのきく経営を実践する、④いい会社にする、⑤社会に奉仕する、である。なので、効率ばかりを求める会社は、本当に正しい経営なのか。

- ・効率重視は「ピラミッド構造の中」にいる事となり息苦しい。「ピラミッド構造」では、社外からは、低価格・量産、品質第一、コストダウン、支払条件、価格転嫁不十分、意思決定遅い等々、社内では、上意下達、指示命令、報連相。真似、教える、理解させる、失敗を咎める等々「決められたことを行う社員教育」となる。しかし、我が社は、試作・少量・スポット品で多様性を重視し、「考える社員」を育



成している。

・「単なるパネ屋からの脱却」を3代目が目指している。製造業は「良いモノを安くつくる」だが、それでは儲からない。どこでもできるものは作らない。「1→5」にする社員も必要だが、「0→1」が好きな社員を伸ばしている。働くことは厳しさの中にも「楽しさ」が必要。考える社員をもっと作りたい。それは、多様性と変化の原動力だから。

・会社の価値は規模や売上が大切ではない。会社の「あり方」が大切で、「やり方」は無量大にある。この会社の「あり方」で会社を引っ張っていくのが社長だ。

## ■ 幹事報告 柳生副幹事

1. ポリオ絶滅のための「古着deワクチン」運動で、9/12(木)と9/26(木)の例会にて古着を回収します。ご協力をお願いします。
2. ローターリー歴入会5年未満の方を対象にした『ロータリー塾・友達の輪を広げよう!』が9/17(火)静岡市のグランシップ、10/31(木)甲府市の県民文化ホールで開催される。参加希望者は幹事まで御連絡ください。
3. 第43回例会も兼ねて行われる、10/6(日)の地区補助金事業『劇団たんぼぼ鑑賞会』への参加をお願いします。
4. 本日の例会終了後、役員・理事会を開催します。ご出席をお願いします。

## ■ 委員会報告

### ・小澤 2620地区プログラム委員長

8月18日(日)静岡市にて、2025-26年度の青少年交換留学の候補者2名の面接を行った。これから研修が始まり、来年8月からの派遣となる。当地区は今年度、米国から1名、フィンランドから1名を受け入れている。

### ・村田 奉仕プロジェクト委員長

10月6日(日)の地区補助金事業「劇団たんぼぼ」の公演の打ち合わせで、会場となる清明寮に伺い、打ち合わせを行った。詳細は改めてお伝えするが、多くの皆様の参加をお願いしたい。



## ■ お誕生日お祝い(8月):山田佳祐 会員

・8/5で30才になりました。ありがとうございます。

## ■スマイル

- ①小川会長・田淵幹事一沢根様へ卓話の御礼、小谷さんへ例会参加への御礼
- ②小澤直前会長一沢根様へ卓話の御礼
- ③柳生会員一本日の例会に、姪が参加させていただきました
- ④久米会員一ロータリーがご縁で、ルームランナーを納品させていただきました
- ⑤伊藤会員一当クラブの若手メンバーで懇親会を開催しました
- ⑥衛藤会員一沢根様へ卓話の御礼、司会への御礼、自転車で伊勢湾を一周しました



ゲスト1名(沢根孝佳様)、ビジター1名(小谷涼乃様) 出席率 : 76% (会場 22名+BAND 4名 = 26名/34名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ  
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

